南山っ子通信

長崎南山小学校
学校生活だより
平成３０年１２月号
担当（山田）
NO.74

クリスマスの準備

嘘のような本当にあった笑える話です。

１２月に入って間もないある日曜日の昼下がり，一人のおじさんが用事を済ませて家に帰ろうととぼとぼと歩いていました。お日様の光が心地よく,冬だというのにポカポカの陽気です。ふと通りかかった教会では，何人もの人たちが忙しそうに中に入ったり，また出てきたり，何か作業をしているようです。

おじさんは，立ち止まってしばらく興味深そうにじっとその様子を見ていました。信者の人たちが集まってミサというものをするのは日曜日の午前中だと聞いたことがあるが，この人たちはこんな天気のよい日中に一体何をしているのだろう？

不思議に思ったおじさんは，一人の若者に声をかけて尋ねてみました。

「忙しそうですね，みなさんで何をしておられるのですか？」

「クリスマスの準備ですよ，馬小屋を作っているところです。」

元気のよい若者の声が返ってきました。何となく様子が分かってきたおじさんは，一言つぶやいて帰りました。

「へぇ～，この頃は教会でもクリスマスをやるんだなあ！」

クリスマスとイエス様・救い主の誕生を結び付けて考えることのできないこのおじさんにとっては，クリスマスといえば商店街や街中を飾り立てること，プレゼントをもらってケーキを食べること，赤い服を着たサンタクロースの姿をよく見かけること等々，年末の一つの大きなイベントであって，それ以外の何ものでもなかったわけです。

世間一般の人たちが騒ぎ立てるクリスマスを，この頃は教会でもやっているのかと思ったおじさん，そういった日本人がもしかしたら他にもいるかもしれませんね。

教会では，クリスマス（降誕祭）の４つ前の日曜日からクリスマスを準備する期間に入ります。カトリックでは，この期間を「待降節」と呼んでいます。

先週のごミサの中で，ディエム神父様は，救い主のご誕生を待つ「待降節」の前半の２週間は悔い改めの期間であり，自分の犯した罪を心から悔やみ，赦しを神様に願って心を清くする期間，よい行いをいっぱいしてイエス様の誕生を心待ちにする期間だと話してくださいました。また，後半の２週間は希望の期間，幸せな気持ちで心静かにイエス様のご誕生を待つ期間だとも教えてくださいました。

プレゼントを何にしようか，パーティーの中身どうしようかなどの華やかな準備も楽しいですが，心を静かにして，救い主としてこの世に来られたイエス様の誕生の意味を黙想してみるのもいいかと思います。

地域社会からの声

子どもたちは，家庭や学校の躾けや教育の中で育つばかりでなく，地域社会との関わりの中でも育っていきます。同じように，学校そのものも保護者の声や地域からの情報提供などに支えられても発展し成長していきます。学校を支えてくださる声の中には，お褒めや感謝の言葉ばかりでなく，時には注意やお叱りの声が届くこともあります。

先日，あるお店から次のような注意の電話がかかってきました。

> 下校の途中と思われる南山小学校の高学年の児童の複数人が制服のまま店内のゲームコーナーで騒いで遊んでいる。ここのところ数回続いているので学校でも注意してほしい。

子どもたちのことを心配し，親切に知らせてくださったお店の方に感謝したいと思います。

子どもたちは，まもなくクリスマスやお正月の楽しい冬休みを迎えます。いつも以上に心がわくわくし気持ちが浮き立つ日が続きます。今日の全校朝礼では，南山小学校のルールとして大事な項目についてお話をし，再確認をしてもらいました。

- ゲームセンターやゲームコーナーには，保護者同伴であっても出入りしないこと。
- 学校帰りにお店に寄ったり公園などで遊んだりしないこと。
- 必要でないお金は持って来ないこと。事情があってお金や貴重品などを持ってくる場合は，親に連絡帳に書いてもらい，登校後先生に預かってもらうこと。
- 休みの日などに，子ども同士で娯楽施設や大型店舗に行かないこと。

♧♧ 教 室 紹 介 ♧♧

４年２組　担任　宗　ゆかり 先生

小体会に向けて長縄の練習をがんばっていた６年生に刺激を受けて，朝早くから，そして中休みも昼休みも長縄に夢中になった４年２組の子どもたち，いつの間にか６年生の技能に近づくほどに上手に跳べるようになっていました。チームワークのよい４年２組は，みんな遊びでも毎回楽しい計画を立てて仲よく遊んでいます。

図画工作では，初めて彫刻刀を使って木版画に挑戦しました。彫刻刀の種類に合わせて彫り方を工夫するのが楽しくて仕方がないといった様子でした。

休み時間と学習時間のスイッチを切り替えること，互いを認め合うこと，助け合うことができるクラスを目指して日々がんばっている４年２組です。

先日の社会科見学では，人の命を守るために毎日鍛錬し必死に働いておられる消防士さんのお話に感動したという声が多く聞かれました。宗先生は，毎日の学校生活の中でも，感謝する心や人を思いやる心をますます大切にしてほしいと願っています。

♪世界ではじめのクリスマス

1．世界ではじめのクリスマスは
ユダヤの田舎のベツレヘム
宿にも泊まれず家畜小屋で
マリヤとヨセフの二人だけ

赤子のイエスさま　草のうぶ着
ゆりかごがわりの飼い葉桶
やさしい笑顔に見守られて
恵みの光が照らすだけ

グローリア　グローリア
グローリア　グローリア
インエクセルシス　デオ

2．不思議な光が空を照らし
野原のまきびと驚いて
みつかい教えたベツレヘムへ
イエスさま拝みに駆け出した

確かにおられた救い主だ
まことに賢きみどりごじゃ
我らがイエスさま拝めるとは
世界で一番しあわせよ

3．キリスト探して博士たちは
東の国から遠い旅
星影たよりにベツレヘムの
うまやでイエスさま　見出した

尊きキリスト　神の御子よ
御告げのとおりのお姿で
黄金，乳香，没薬など
真心尽くして　ささげましょう

グローリア　グローリア
グローリア　グローリア
インエクセルシス　デオ

4．世界ではじめのクリスマスは
ちいさなちいさなクリスマス
けれども喜び満ち溢れた
気高いまことのクリスマス